



卒業だより

平成22年
6月11日
発行
第20号
享栄高等学校
入試広報室

入学して一カ月が過ぎて...

高校生になって



名南中学校出身 K さん

私は高校生になる前から決めていたことがあります。それは素の自分が出せる、本音を言いたい友達を作ることです。まだ入学して少ししかたっていないけれど、素の自分が出せる友達ができました。これは本当に良かったと思います。

高校での目標は、体育祭や文化祭などの行事を思いっきり楽しむことです。また、テストでは追いつかないように、しっかり勉強します。私の将来の夢は、訪問介護員か福祉関係の仕事に就くことです。そして、高齢者の方々の力になりたいです。

志賀中学校出身 S さん

私の夢は、頼りになる優しい看護師になることです。

幼い頃、病気がちで入院ばかりしていた時に、担当の看護師の方が優しく接してくださり、心身ともに療養することができました。それ私も、患者さんの身体の療養はもちろん、不安定なメンタル面の療養も手助けできる看護師になりたいと思っています。

夢の実現のために、高校三年間でしっかり勉強し、大学進学のための学力を身につけたいと思っています。

これから三年間、授業や学校行事ともに真剣に取り組み、充実した学校生活を送りたいです。

守山西中学校出身 K さん

私の将来の夢は、中学校の教師になることです。そのためには、一年生の今から居残り学習や、予習復習などを行い、勉強時間を増やしていきたいです。そして、三年後、私の目指している愛知教育大学に進学できるように毎日がんばっていききたいです。

また、勉強面だけでなく、文化祭や体育祭なども、クラスが団結して楽しくやりたいと思っています。

梅坪台中学校出身 M 君

ぼくが享栄高校に入学した理由は、ソフトウェアの資格が取れるということと、機械科でたくさん

ぼくは中学時代もソフトウェアをやっていました。あまり上手ではありませんでしたが、楽しく部活をやることができました。高校でも楽しくやっていきたいと思っています。きついこともあると思いますが、しっかりがんばりたいです。

将来は自動車関係の仕事に就きたいと思っていますので、なるべくたくさん資格を取っていきたくと思っています。これからの三年間を真剣に取り組んでいきます。

蟹江中学校出身 Y さん

入学して最初は不安でしたが、クラスの人たちとも仲良くなり、とても楽しい高校生活を送っています。朝は早く、電車の中はすごく眠たいけれど、がんばって登校しています。

チャアリーディング部に仮入部しました。かなり遅くまで練習しているので、ついていけない不安だったけれど、先輩たちがすごい笑顔で教えてくれるし、ものすごく楽しいので安心しました。

私の将来の夢は、まだ漠然としていてはつきりわかりません。これからの高校生活の中で見つけていきたいと思っています。

野外合宿に参加して

新入生オリエンテーション合宿
平成二年四月十四日～十六日
国立乗鞍青少年交流の家



新入生野外合宿(乗鞍青少年交流の家) 雪山ハイキング(2010.4.15 1年1組(小塚クラス))

長良中学校出身 I 君

僕はこの野外合宿でたくさん学ぶことができました。集団行動では、整列や礼の仕方、十分前行動です。ほかに、人とかかわりや係りの役割も学びました。

二日目は雪山ハイキングに出かけました。乗鞍はとても寒く、気温はマイナス三度でしたが、山の中の空気はとてもきれいで、とてもいい体験になりました。

野外合宿は正直とても疲れました。でも、たくさんの友達をつくることができましたし、クラスの団結力も高まった気がします。

この合宿で学んだことを生かして、今後の高校生活を楽しんでいきたいと思っています。

愛教大附属中学校出身 S 君

僕は、乗鞍の合宿で多くのことを学んだ。一つ目は、友達と協力する楽しさ、喜び、大変さ。

二つ目は、人に頼るのではなく自分で行動することの重要さ。その他にも、もっともっと多くのことを学んだのだが、その中で最も心に残っているのは、友達との信頼関係である。この

信頼関係がしっかりしていると、安心感がめばえ、人と接しやすくなる。また自分が困っている時などは助けてくれるし、逆に困っていたら助けてあげることが出来る。

はとり中学校出身 K さん

野外合宿に参加して思ったことは、友達と仲良く元気に過ごせたことが、とても楽しいと感じたことです。

時には、早く野外合宿が終わって欲しいなと思った。先生に注意されていやな思いをしちゃった。けれど、友達がいながら笑って乗り越えられたのかなと思います。私の周りは、いつも笑顔がいっぱいで、私も笑顔が絶えませんでした。この合宿に参加して、本当に良かったと思います。

これからは、この経験を生かして勉強も友達も大切にしていこうと思っています。

横須賀中学校出身 I さん

私は野外合宿で多くのことを学びました。一つは皆で協力し、助け合うこと。二つ目は、与えられた仕事は責任をもって行うこと。三つ目は、クラスの子と話しをすることです。

私は、この合宿に行くまではクラスの人達と話すことはできませんでしたが、合宿に行くとから多くの人と話すことができるようになりました。また、みんなで協力するということも、親の大切さやありがたさがとてもわかりました。

合宿はきつくて、つらいこともあつたけれど、そのおかげで多くのことがわかりました。これからの高校生活は、ここで学んだことを生かして、楽しく有意義に送りたいです。



旭 中学校出身 T さん

野外合宿には、始まる前から行きたくありませんでした。到着してからも、ずっと帰りたくて仕方ありませんでした。

乗鞍には、中学二年生の時もキャンプで行って、もう一生行きたくない所でした。理由はハイキングが嫌だったからです。自分なりにがんばりましたが、雪が降って寒くて辛かったです。ハイキングから戻った時は、全身が冷えて気分が悪くなり、ご飯を食べることができませんでした。

しかし、先生方のお話で「なるほど」と勉強になったこともたくさんあったし、「親からの手紙」では自分のことを誰よりも思ってくれていることがわかり、心にグッとくるものがありました。

もう乗鞍には行きたくないけれども、学んだことをこれから生活に生かしていきたいです。

美和中学校出身 M さん

野外合宿に参加して、いろいろなことを得ることができました。

まず友達です。入学してから野外合宿まで、私はクラスに一人も話さないで、お昼ご飯も一人で食べていました。でも、今回の合宿で、話しかけてくれた子がいて、それから自分も話しかけに行ったら、自然に話せるようになりました。これから一年間、その子たちと仲良くしていきたいです。

次に集団行動の大切さです。集団行動は一人ができていないと、全員が最初からやりなおしになるので、みんなで息を合わせないとだめなんだと知りました。これからの三年間、この合宿で得た経験を生かしながらがんばります。



全国大会出場決定!

ボクシング部

平成二二年度の高校総合体育大会愛知県大会において、ボクシング部が二階級で優勝しました。

その結果、ライトフライ級優勝の内山雄平選手は、七月下旬に沖縄県で開催される全国総合体育大会(インターハイ)への出場が決定しました。また、ピン級優勝の内山雄太選手は、六月中旬に行われる東海大会に出場し、その成績次第でインターハイへの出場が決まります。



稲沢市総合体育館にて

ライトフライ級(四九kg以下) 優勝 内山 雄平(訓原中学校出身)

Q: ボクシングを始めたきっかけは?

A: 小さい頃から格闘技が好きで、父親にすすめられてボクシングを始めました。

Q: ボクシングのスタイルは?

A: ジャブを打ちながら、カウンターのチャンスをとるアウトボクシングのスタイルです。得意なパンチは左ジャブです。

Q: インターハイでの目標は?

A: 兄弟そろっての金メダルです。

Q: 将来の進路、目標は?

A: 高校卒業後、プロ、アマを問わず、できるところまで選手としてやりたいです。その後は、ボクシングに携われる仕事に就きたいと思っています。

Q: 後輩たちにひとこと

A: いちばん悩む時期だと思いますが、後になつて後悔だけはしないように、今を精一杯楽しんで、自分の納得した道を歩んでください。

ピン級(四六kg以下) 優勝 内山 雄太(訓原中学校出身)

Q: ボクシングを始めたきっかけは?

A: 小学校二年生の頃に、父親に連れられてボクシングジムへ見学に行きました。そこでサンドバックを打ってみたいと思ったのが最初のきっかけです。

Q: ボクシングのスタイルは?

A: リードプロで誘いをかけて、接近戦に持ち込み、左サイドボディから細かく連打するのが自分のスタイルです。

Q: これからの目標は?

A: 東海大会でインターハイへの出場を決めること。そしてインターハイでは全国制覇をすることです。そこで、自分自身に悔いが残らないように、完全燃焼する試合がしたいです。

Q: 将来の進路、目標は?

A: 高校を卒業してからも、プロ、アマを問わず、選手として自分が納得するまでボクシングを続けていきたいです。

Q: 後輩たちにひとこと

A: とにかく自分で何かひとつ打ち込めることを見つけて、それに向かってがんばってください。



右: 内山雄太選手

左: 内山雄平選手

ボウリング同好会

第三四回全日本高校ボウリング選手権愛知県大会において、八位に入賞しました。その結果、七月中旬に東京品川プリンスホテルボウリングセンターで行われる全国大会への出場を決めました。

緒方 真琴(前林中学校出身)



新制服デザイン決定

New Uniform 2011年度から制服が新しくなります。



ポロ

夏服

冬服

合服

享栄トピックス1

「街美ボランティア」

五月二十九日(土)に、昭和ライオンズクラブ主催の「街美ボランティア」が開催され、今年も、本校の生徒・教職員・PTA約三三〇名が参加しました。当日は天候にも恵まれ、八事興正寺から享栄高校までの約三キロを二つのグループに分かれ、歩道に落ちているゴミを拾って歩きました。



参加した生徒の感想

「自分の歩いている足元をよく見ると、本当に多くのゴミや空き缶、ペットボトルが落ちていたことが分かった。」
「汗をかいたが、すがすがしい気持ちになった。」
「たばこの吸殻やペットボトルが多い。僕は絶対に捨てません。」
「知らない人から、ご苦労様と声をかけられ、気分がよくなった。次回も参加します。」



享栄トピックス2

「ITパスポート試験」

「ITパスポート試験」とは、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が主催するもので、情報技術の基礎知識を問う国家試験です。この資格を取得することは、IT化された社会で働くすべての人に必要な基本的能力を身につけていることが証明されるものです。春と秋の年二回この試験は実施されていますが、高校生にとっては、かなり難易度の高いものです。

四月十八日(日)に実施された春の「ITパスポート試験」に本校からは、商業科情報メディアコースの生徒九名が受験し、そのうち二名が見事に合格しました。情報メディアコースの二・三年生の生徒は、十月十七日(日)実施の秋の試験に向けて、資格取得を目指してがんばっています。

「ITパスポート試験」合格者



藤田 卓也

(岐阜大学附属中学校出身)

堀 義和

(駒方中学校出身)

享栄高等学校
オフィシャルガイドブック

Kyoei 2011

希望者はメールで!



koho@kyoei-h.ed.jp

